

三重中フェスタ 2020

2月11日(火・建国記念日)に三重中フェスタが開催されました。

寒い中にもかかわらず、300名を超えるたくさんの児童と保護者の皆さんが参加してくれました。三重中フェスタは部活や、クラス、生徒会が様々な講座を開催し、それを小学生の児童に体験してもらい、楽しみながら三重中学校のことを知ってもらおうお祭りです。

講座を運営するのはもちろん三重中学、三重高校の生徒です。連日しっかりと用意してきた企画を堂々と発表し、説明する姿が見られました。児童は生徒たちに手順を教えてもらいながらダンスをしたり、作品を制作するなど一生懸命に取り組んでおり、どの講座も盛況のうちに終わることができました。最後は三重中学校の制服の試着会や、生徒会によるガイドウォーク、生徒の間でも人気の三重高カレーの試食会が行われました。

たくさんの生徒の協力により、三重中学の魅力をたくさん伝えることができました。児童や保護者の方も、在校生と触れ合っていたいただき、三重中学校の雰囲気を感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。



英語劇

2月11日(祝)、三重中フェスタが行われ、1Aでは全員で英語劇を披露しました。9月の翠巒祭で演じた‘The Sound of Music’にさらに磨きをかけて練習を重ね、50分にわたるミュージカルを完成させました。一人一人がこの劇をより良いものにしようと様々な工夫を自分たちで考え、実行したことで、9月よりもさらに素晴らしいパフォーマンスとなりました。

1A 前原 優月

夏休み前、私が主役のマリアに決まった時、まだあまり実感が湧かず、ちゃんとできるのか不安でした。しかし夏休みにたくさん練習して、翠巒祭で初めて披露したときに成功させることができました。そしてその時にとても達成感を得られ、次はもっと上手に出来るのではないかと自信を持つことができました。だから、三重中フェスタまでの間、みんなで「ここはもっとよくできる」とか、「あそこはこうしよう」とかアイデアを出し合い、頑張って練習を重ね、フェスタの当日は大成功させることができました。私はこの英語劇を通し、挑戦と団結の大切さを学びま

した。正直、英語で人前で話すということとミュージカルを演じるということはどちらも初めてで心配でしたが、最初から諦めず、まずはやってみることが大切なのだと分かりました。

また、今回の劇はたくさんの人が協力し、そして団結したからこそ成功できたのだと思います。協力してくださった先生方、先輩方、保護者のみなさん、そしていつも応援してくれている一年生のみなさん、本当にありがとうございました。今後もこの経験を活かし、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

表彰報告

JA第44回三重県「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール

- 作文部門 三重県教育委員会教育長賞
- 1 C 金澤 心愛
 - 2 A 鈴木 花菜
 - 3 A 福田 愛果
- 三重県米麦協会会長賞
- 2 A 鈴木 花菜
- 三重県農業協同組合中央会会長賞
- 3 A 福田 愛果
- 佳作
- 1 B 大塚 天翔
 - 1 C 加藤 優芽
 - 3 A 森下 舞優
- 学校賞 三重中学校

第65回読書感想文コンクール地区審査

- 最優秀賞 1 A 木下 萌花 堀口 明日羽
- 優秀賞 3 A 野村 彩希
- 優良賞 2 B 大西 泰樹 2 C 中西 春華
- 3 A 吉岡 那乃
- 佳作 1 B 木村 瑠衣 3 B 前川 ころろ
- 校内入選 1 A 中村 圭佑 2 A 池田 宗一郎
- 2 A 松本 恭佳 3 C 林 花穂

令和元年度松阪市人権図画ポスター募集

- 中学生の部 入選 2 A 鈴木 花菜

第64回本居宣長顕彰短歌大会

- 入選 1 D 荒新 陽菜乃

令和元年度「税についての作文」

- 東海税務連絡協議会会長賞 3 A 福田 愛果
- 松阪納税貯蓄組合連合会長賞 3 B 世古口 結名
- 金賞 3 C 東 優花 3 C 村田 有生満
- 3 C 大西 麟斗
- 銀賞 3 C 見並 優汰 3 D 松本 怜晃
- 銅賞 3 A 若林 瑚々夏 3 B 長井 玲奈
- 3 B 村田 実子

第39回全国中学生人権作文コンテスト

- 優秀賞(松阪地区)
- 3 A 小原 由雅
 - 2 B 西之坊 知奈
 - 2 C 角谷 廉

松阪景観絵画コンクール

- 最優秀賞 1 A 山本 雪
- 優秀賞 1 B 西垣 幸奈
- 特別賞 1 A 古御門 暖希 1 C ラサ ヤスナ
- 努力賞 1 A 濱口 菜白 1 C 森田 涼矢
- 1 D 稲垣 百瑛 1 D 角屋 翔太
- 1 D 小竹 海翔

第6回みえの森フォトコンテスト

- 優秀賞 5 B 山元 奏弥

学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ



発行 三重中学校・高等学校六年制
〒515-8533
三重県松阪市久保町1232
電話 0598 (29) 4001
FAX 0598 (29) 6012
Eメール infomiej@mie-mie-h.ed.jp
印刷 (株)アイブレーション
題字 鬼頭 翔雲



式 辞

三重中学校 校長 野田 佳均

本日ここに三重中学校を卒業する132名の皆さん、おめでとうございます。皆さんのご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、今日の卒業式を迎えるまでに保護者の皆様からいただいた数々のご支援に対し、心から御礼申し上げます。

さて、何よりもまず、今日皆さんのしなければいけないことは、卒業証書を親御さんにお見せして、きちんとお礼の言葉を述べることです。感謝の心を、言葉にして伝えなくてはなりません。そういうけじめのつけられる人に成長していると信じています。

皆さんは本日義務教育を終えました。明日からは、保護者の経済的支援を受けながら、皆さんの自由意思と選択によって、皆さん自身の教育に邁進するということになります。中高六年制に学ぶ皆さんは、明日からも学び舎や仲間と同じですが、皆さんの立場は根本的に変わるということを感じてください。今日という日を、その機会にしてほしいと思います。また、これからも教育の機会を与えてくれる親御さんに対して常に感謝の心を持ち続けてほしいと思います。

この3年間で、皆さんは心も体も大きく成長しました。私は皆さんと出会って以来、事あるごとに三つのことを言ってきました。一つは「人生は努力以上のことは起こらない」ということです。一つは「昨日の自分より今日の自分、今日の自分より明日の自分が成長しているか、それだけを考えよ」ということです。最後の一つは「辛抱強く学ぶ意欲を

身につけよ」ということです。これらのことは、これからの3年間も忘れないでほしいと思います。

さて、わが校の教育の源流は水戸学にあります。水戸学から生まれた「文武不岐」はいわゆる文武両道とは意味を異にし、文と武は不可分つまり両者は分けることのできないものであると考えます。皆さんの場合、文を知識、武を行動と解釈してよいと思います。「文なき武」も「武なき文」もともに危うく不完全なものです。正しい知識を得るための勉強も、その知識が行動を伴わなければ完全なものではありません。知識なき行動は蛮勇につながります。行動なき知識はただの批評で、誰にでもできる愚かなことです。

論語に「ま先ず行い、おこな其の言はそ而るげん後之にしか従う」とありますが、これも「ち知行合一」といって「文武不岐」と同じことと解釈してよいでしょう。人間の評価がその人の言動に対するものであるなら、皆さんの言動は正しい知識に裏打ちされたものでなければなりません。皆さんは正しい知識を習得するために勉強をしています。それが正しい行動へと反映されることを願ってやみません。

皆さんには、青春前期と呼ばれる、眩いばかりの美しさを放つ高校生活が待っています。しかし一方で、不安、悩み、焦燥が訪れる時期を迎えます。しかし、その不安も、その悩みも、その焦燥も決して自分一人だけに訪れているわけではないことを知るでしょう。仲間とともによく考え、よく悩み、成長して行って下さい。

文明が進展し、世の中がどんなに便利になろうとも、教育には変わらず求められるものがあると私は考えています。皆さんがこの中高の教育を通して「辛抱強く学ぶ意欲」を身につけることができたなら、どのような時代になろうとも肯定される大切な資質を手に入れたと言える、私はそう考えています。明日の自分の成長を信じて今日の努力を怠らないようにして下さい。

晴れやかに、新しいステージへと旅立つ皆さんを祝し、再度このことを申し上げ、私の式辞といたします。



祝 辞

学校法人三重高等学校 理事長 梅村 光久

三重中学校を卒業する皆さん、ご卒業、誠にありがとうございます。学校法人を代表して、祝意を申し上げます。保護者、ご家族の方々には、お子様の晴れ姿をご覧になり、感慨もひとしおかと存じます。心よりお祝い申し上げます。また、この3年間、三重中学校の教育活動に対しまして、格別のご理解をいただきましたことに厚く、御礼申し上げます。

さて、三重中学校は1962年に設立され、多くの人材を育ててまいりました。そして、三重中学校の伝統や校風も、その時代の在校生や卒業生の皆さんによって築かれています。

私も三重中学校、三重高校で6年間を過ごしました。昨年、私の2学年先輩の方と、当時の我々の頃の中学校時代の懐かしい話をしました。その先輩いわく、「当てもそうだけど、今の三重中の生徒さんも家族的な雰囲気があっていいね」。「私が今でも鮮明に覚えている中学時代の話がある」とのことです。内容を聞くと、次の様なストーリーでした。その方は毎日、母親にお弁当を作ってもらっていましたが、昼食時に2つのお弁当箱（一つは白米、一つはおかずのはずだった）を開けたところ、白米が2つともに入ったお弁当箱だったそうです。父親が間違えて、おかず入りのお弁当を2つ持参して会社に行かれたのです。呆然としていたその方の姿を見た友人たちが腹を抱えて笑いながら、お弁当の蓋を持って教室を出て行って、暫くすると、色とりどりの卵焼きやソーセージなどが山盛りで目の前に。普段よりボリュームのある、様々な味のする卵焼きを涙しながら味わったという話でした。その方は、三重高校では吹奏楽部でトランペットを担当され、奉職さ

れた会社では、会社の硬式野球部の全国大会などで応援する際に使用する多くの曲を作られました。実は、その応援歌の一つのメロディーは、この1月に東京で開催された春高バレーにおいて、三重高校女子バレーボール部の試合の際に体育館中に響き渡りました。「三重中学校、三重高等学校で沢山の恩をいただいたから、今度は後輩のためなら」と様々な場面で学校を応援して頂いています。人を信じられるからこそ、人のために時間を使うことを厭わない方です。

一般、三重中学校フェスタが開催されましたが、その運営をボランティアの生徒の皆さん、しかも、自らが進んで参加したいと手をあげてくれた生徒の皆さんやクラブの生徒の皆さんが、担ってくれました。本日の卒業生のなかにも力を貸してくれた生徒の皆さんが沢山います。

自分の時間を自らの意思で他者のために提供する行為は、実は本人はあまり気がつかないかもしれませんが、その時間を受けた側（頂いた側）には、清々しさや、暖かさ、が伝わり、時には、それらの方に対する敬意が生まれます。人のために、さりげなく時間を提供する、そうした感性を今後とも皆さんには持ち続けてほしいと思います。

皆さんが、義務教育を終了する本日を迎えることができたのも、皆さん自身の研鑽とともに、皆さんを応援してきた多くの方々のお陰であります。その最大の実践者・理解者は保護者の方々であります。今晚はしっかりと皆さんから保護者の方々に感謝の言葉を伝えてほしいと願っています。

4月からスタートする高校生活において、不安になることもあるかもしれませんが、引き続き多くの方々皆さんを応援します。そうした方々への思いを馳せながら、主体的に学ぶ姿勢を強く持ち、未来に必要な能力の礎を今後の3年間で築かれることを願って、卒業生の皆さんへの祝辞とします。ご卒業、おめでとうございます。

人との繋がりから生まれるもの

教頭 谷川 直樹



日常生活の中で、例えば紙で手を切ったくらいだったら、その傷は放っておいても数日もすれば、きれいにもと通りに治りますよね。つまり、私たちには自然治癒の機能が備わっているということなのですが、高層ビルや道路などに使用されるコンクリートにもこのような機能を持たせたものが最近登場しています。オランダのデルフト工科大学のヘンドリック・ヨンカース准教授らが、そのコンクリートの開発を行ったそうです。バクテリア胞子と栄養分をカプセルに封じ込めたものをコンクリートに混ぜ込んだというものです。コンクリートは年数が経つとどうしても亀裂が生じてしまいます。当然、強度が低下するということになるわけですが、この亀裂から空気や水分が入ることでカプセルが壊れ、眠っていたバクテリアが活動を始めます。そのバクテリアは石灰石（炭酸カルシウムというコンクリートの成分）を生み出すので、コンクリートの亀裂が埋まることになり、自然修復されるという仕組みです。そのバクテリアは200年生きるとい

なので、コンクリートの寿命は、ふつう50年くらいと言われていますが、亀裂と修復を繰り返すことで、格段に延びることになります。これからつくられる建造物には、このようなものが使用されていくようです。

学問や産業の分野など様々な垣根を越えて共同で研究・開発が行われていく中で、大切なことは何か。それは、人と人が意識的に繋がっていくことだと思います。これから世に出てくる優れた発明品の中には、人と人の繋がりのおかげで、奇跡的に生み出されることも多くあると思います。実際にこのコンクリートは、実用化に向けて日本企業が連携し、見た目の悪さ、斑点のような模様ができてしまう短所などいくつかの問題点を一つ一つ解消してきています。皆さんは、これから高校・大学へと活躍のフィールドが拡大していきます。自分の持っている可能性をもっと進化させるためにも人との繋がりを大切に考え、より豊かな繋がりを追求していくことが必要であると思います。

飛躍の舞台

中学部主任 小津 明義



3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんの卒業に際し、ふと、私の中学3年生のころを思い出しました。私にとって、高校1年生（4年生）になる時、4月から頑張ろうという気持ちになっていました。今の私があるのは、あのとき、その思いに忠実に4年生の1年間をものがき苦しんだからだと確信しています。

4年生の1年間は、本当によく勉強したと自分でも当時は思っていたのですが、今の私からすると、勉強している時間だけがただ増えただけで、何の成果もあがらなかった一年でした。しかし、その失敗の数々が、5

年生になるころには少しずつ光が見え、大きな一歩を踏み出した一年になったのだと思います。

苦手だった数学を克服できた体験は、単に、大学入試の科目の一つとしての役割を果たしたのではなく、自分に限界を作っているのは自分自身であることを思い知らされたという意味で大きかったと感じています。

皆さんにとって4月から迎える高校3年間は、大きな飛躍の舞台になることを祈っています。

タイトル 『万華鏡』について

筒の中を覗くと、きれいな絵模様が現れます。筒を回転させると、また違った絵模様が見えます。万華鏡に入っている1つ1つのパーツを生徒1人ひとりとすれば、できあがる絵模様は三重中学校における成果のようにも思えます。

万華鏡を覗くようにこの三重中学校学校報を読んでください。そして何通りもの絵模様を楽しんでください。

3年A組

変わること

3A担任 宮崎 佐和子



ご卒業おめでとうございます。
 中学に入学して、早いものでもう卒業です。皆さんは、この3年間で身体的にも精神的にも大きく成長したように思います。高校生になるといっても、環境がそれ程変化するわけではないので、中学入学時のような新鮮な気持ちを持つことが難しいかもしれません。ですが、節目を大切にすることはチャンスです。高校ではこうしようという目標を持つ、あるいは少し背伸びをして、少し前向きに取り組んでみてください。楽しいこと、楽なことばかり

ではないかもしれませんが、様々な経験をしていってほしいです。自分の行動はそのまま自分の未来へとつながります。少しでも自分を変えるチャンスだと考え行動することが、皆さんの高校生活、そしてその後の未来へと繋がっていくことと思います。
 また、皆さんの周りには常に支えてくれる人がいます。そのことに感謝し、相手が困っていたら支えられる存在になってほしいです。お互いに磨き合えるような、本当の仲間と言えるような人間関係を築いていくことを願っています。



時間を大切にする。
 数学&英語と、小テストを頑張る。
 その時その時を大切に
 責任感を持って、物事に取り組む
 文武両道
 自分で物事を判断できるようになる。
 謙虚で努力しなければ何も成し遂げられない。
 コーナーで差をつけろ。
 仕切り直します。
 明るい未来
 何事も諦めずに最後まで取り組む。
 周りに感謝する
 3Aに出逢えた幸せ感じて風になりたい！！
 自分自身から逃げず、大切にできるよう心がける
 七転び八起き
 物事を常に俯瞰し、自分なりの考えや疑念を持つ。
 文武両道（たまに息抜き）
 自分のしたいことをする
 学び、考え、本当の理解に到達する。
 自分らしくポジティブに！

青木 直美
 青木 睦美
 池田 美友
 伊藤 康成
 稲垣 明良
 内田 帆風
 岡本 陽平
 小倉 大和
 小原 由雅
 梶 心乃香
 河井 綾音
 川口 沙倉
 川西 凧
 神田 想直
 桐生 基史
 劔山 倭
 世古 陽哉
 高橋 香子
 田中 香太
 中井 彩智

毎日コツコツ努力する
 人に迷惑をかけずしっかりと生きていく。
 日々の努力をコツコツ積み重ね、結果に繋げる
 自分の将来へ、確かな一歩を
 1日1日を大切に！後悔はしない！！
 人生とは冒険であり、そこで得た経験は宝物だ。
 振り返った時大変だった日も大切だと思えるように
 努力を怠らず、努力を信じる
 数学を克服する
 高1の間に将来やりたいことを決める。
 ありがとう。支えてくれる人がいるから前に進めた。
 何事も全力で取り組む。
 最大の努力の果てに、有終の美を飾る！
 自分に自信をもって！
 生きている者とは、闘っている者だ。
 明日からじゃなくて今から頑張る。
 拗れて破れかぶれて、まっすぐ成ります。
 将来の夢を見つけて一生懸命努力する
 一生懸命努力して目標を実現させる
 気持ちで負けない！

中嶋 優
 中村 優斗
 野村 彩希
 東 風羽
 福田 愛果
 藤川 慶大
 前川 友李
 増田 綾華
 間瀬 将太
 三角 洸太
 村田 陽菜
 森岡 美海
 森下 舞優
 山崎 晟
 山下 泰世
 山本 心愛
 山脇 優羽
 吉岡 那乃
 若林瑚々夏
 渡辺 風花

3年B組

卒業おめでとう

3B担任 三井 明子



社会の授業中に、自分の尊敬する人物について調べて発表する時間をつりました。マザー=テレサ、杉原千畝、伊能忠敬などなど、詳しく調べて発表してもらいました。中には、家族や部活の先輩など身近な人物を選んだ人もいました。発表の時間では、尊敬する人物の言葉や行動から、自分がどのような影響を受けたか、今後にどのように生かしていきたいかなどを熱心に語ってくれました。

私たち教師は君たち生徒に対して、将来どのような仕事をしたいのか、どの大学、どの学部に進学したいのか、こればかりを聞いてしまいます。しかし本来は、どのような人間になりたいのか、これを聞くべきなのでしょう。

高校部では、自分はどのような人間になりたいのか、そして何を為したいのか、これを自分に問い続けてほしいと思います。そして、多くのことを学び、沢山の経験をして、この問いへの答えを見つけてください。



高校生活を楽しみたいです。
 毎日何もしない時をなくし、日々を後悔せずに送る
 もっと勉強を頑張りたいです。
 継続は力なり
 決めた事は最後までやり続ける。
 このまま終わらせるわけにはいかない
 名古屋大学に合格する
 文武両道。あわてず、あせらず、あきらめず。
 あと約3年、大学受験へ向けて頑張る。
 充実した高校生活を送れるようにする。
 高校生活を精一杯楽しむ！人生は一度きり！
 勉強と部活をともに頑張りたいです。
 夢に向かって、つき進む。
 物事を継続する。
 高校生活を楽しみたいです。
 勉強を頑張る
 がんばる
 何でも全力でがんばって、高校生活を楽しみたい！

石野 里佳
 井出 直希
 上之園萌絵
 上村 駿介
 大久保玲香
 大平 六穂
 奥野 景成
 小倉 理瑚
 加藤 英斗
 木岡 愛理
 久保田理央
 小濱かれん
 小林 隼
 沢口 功志
 澤村日花里
 塩野 緋子
 島上 心
 清水 華蓮

1つ1つのことを全力でがんばる！！
 何事も全力で取り組む。
 勉強とスポーツの両立
 高校生になっても、勉強がんばります。
 やりたい事に全力をそそぐ。
 好きな事には全力で。
 高校に進学しても努力し続ける
 あきらめずに努力し続ける
 常に上の世界を目指して歩いていく。
 決意を1つにし、良いクラスの空気を作る。
 高校に進学しても努力をおしまない
 努力を惜しまず、中途半端な行動は絶対にしない。
 中学での失敗を生かして勉強を精一杯頑張る。
 文武両道の実現を目指して精一杯努力する。
 高校生活楽しんで、勉強も頑張る！
 明日も元気に！！
 勉強を習慣にする。

世古 桃子
 世古口結名
 高松 なつ
 田中 美羽
 田中 李佳
 田中 悠理
 玉野 陽菜
 長井 玲奈
 樫井 季
 野嶋 剛至
 前川こころ
 松田 優輝
 松本あおい
 松本 充
 三谷 望優
 宮下奈津日
 村田 実子

3年C組

困難を乗り越えてさらなる成長を

3C担任 阪井 祐喜



卒業おめでとうございます。皆さんが三重中学校に入学したのがまるで昨日のことにように思い出されます。皆さんは私が人生で初めて担任をした生徒であり、皆さんの成長を一番間近で見ていた私には日々

新しい発見がありました。3年間毎日のように共に生活をしていく中で、君たちの急激な成長を目にする機会が何度もあり、驚き感心しました。そこで私が感じたことは、「君たちは、やればできる」ということです。単語テストの取り組み、数学や英語などの単元別テストの取り組みにおいて、やる気になった皆さんの成長はとてつもなくはやく力強いものだと感じました。まだまだ「君たちは、やればできる」のです！

ここから先、次のステージで皆さんの新しい生活が始まります。高校生になるとルールが変わり、許されることが増える反面、より多くの責任も持つようになってきます。またそこで、自分の中でやると決めたことは、何事も途中で諦めずにやり続けてほしいと思います。苦しい時こそ、精一杯踏ん張ることで、困難を乗り越え成長につながります。皆さんはこれから高校生としての新しい3年を過ごす中で、そんな困難にたくさん出会うことでしょう。それにぜひとも立ち向かってください。逃げずに解決してってください。それこそが自分の成長につながります。人のせい、環境のせいにせず、自分に降りかかってきた困難は自分への試練だととらえ、さらに大きく成長してってください。皆さんの成長を心より楽しみにしています。



健康、感情をコントロールできるように頑張ります
勉強に限らず他の事も頑張る。
勉強をもっとがんばります。
これからの人生に、後悔が残らないようにする。
高校生になることを自覚し、気持ちの切り替えをする
数学と英語をがんばりたい。
来年から勉強頑張ります。
勉強とダンスを両立しながら明るく過ごす
全部やる
中途半端に終わらせず、最後までちゃんとする。
うおおおおお数学！数学！英語！（苦手科目）
もう絶対に負けないで生きたい。
何事も中途半端で終わらずにやりきります。
目の前にある事を真剣に取り組みます。
目標や夢を見つけて、そこへのルートを確認する。辻本 安里

青山 大貴
池野優香里
浮田 夏凧
大市 泰史
大西 麟斗
大橋輝里斗
岡田 啓夢
加藤 優那
川村 悠莉
北村 梨夏
高祖 紗羅
鈴木 美結
城 知樹
谷口 僚
辻本 安里

これまでさぼってきた分を取り戻したいです。
遅刻せず登校できるようがんばりたいです。
自分で、将来を築きあげてゆこう。
身のまわりをきれいにすること。
部活と勉強どっちもがんばりたいです。
リスニングができるようになる
行きたい大学に行けるよう真剣に勉強したい。
将来悔いなく胸を張れるよう、今努力する。
手を抜かずに、やりとげます。
勉強と部活を一生懸命がんばって両立させたい！！
志望校に合格して、やりたいことを全てする。
欲望に負けるな！！
何事も一度決めたら、継続していく。
苦手な教科や単元から逃げない

徳田 蒼士
刀根 楓佳
長井 勇哉
中川 晴
中谷 有佑
濱口 凜華
林 花穂
東 優花
福澄 朋也
藤井 法親
松島慎一郎
見並 優汰
村田有生満
山口 暖斗

3年D組

これから

3D担任 石本 幸士



子供のころは、勉強が嫌いであらうとも思わなかった。将来の希望の中に体育の教師になれたらと思う気持ちはあったが、無理と諦めていたように思う。

6年生で、身長が止まり(小学生では大きかったが。)〇〇になるのを諦め、多少運動できても全国記録が無いものは、体育の教師になれない時代。結果、数学の教師をしている。できもしなかった数学の教師だ。自分の人生の七不思議である。ただ、それを仕事に選んだ責任はあり、自分の頭の悪さには気づいていたから、30年以上、数学の入試問題を解き続けた。だからできて当然。そんなに続けたら誰でもできる。それだけである。

あといえるのは、好きな職業に就いていたら、もっと早くにやめていたと思う。苦手で好きではない教科

を選択してしまったから30年も続いていると思っている。ただ、それだけである。人生このようにならないように。

[将来ある君たちへ]

まだまだたっぷり時間が残されている君たち。今後いろいろなことに挑戦し、努力もするだろうが、多くのことを失うことになるでしょう。それでも失うことを恐れず、挑戦し、とことんやり続けてください。続けるのです。諦めずにです。そうすれば、失ったものより価値あるものをほんの少し手にできるかもしれません。このような経験が人生を切り開く大きな力になってくれるはず。自分の力を信じて頑張り続けてください。失敗は多くとも後悔のない人生を送って欲しいと思っています。



中学3年間の経験を活かし、高校生活に取り組む。今まで以上に一生懸命勉強する。クラスに貢献し頼れる人物になる。親孝行できるように努力する。部活もしつつ勉強もやる。毎日5km走り、毎日決められた筋トレをする。授業の復習をして、出来るだけ運動をする。将来のために全力で頑張ろうと思う。将来について真剣に考えていくようにする。部活に励み、成績の向上を目指す。色々なことに挑戦する。毎日元気に学校へ登校するぞ!大ちゃん♡ 良い点が取れる教科が増えるように勉強する。部活もやり勉強でも中学よりは成績を上げる。

石上 皓大
泉 瑠菜
金井健太郎
喜多 海斗
久保 真也
酒徳 晴彦
佐々木蒼空
城山紗英子
鈴木 海音
瀬古 峻椰
高橋 知夏
田中 堅
谷岡 脩平
種村 向将

部活にも勉強にも風にも負けない。将来の夢のために頑張ります。とにかく本を読みまくる。勉強もしまくる。将来のために努力する。毎日健康に登校して後悔ないようにダンスをする。毎日毎日充実した日々を送る。毎日元気に学校へ登校するぞ!けんくん♡ 毎日楽しく、充実した高校生活を過ごす! 毎日授業の復習と予習をする。野球部に入って大会で優勝する。将来、自分がやりたいことを決める!! 就きたい職業を見つけ、夢に向かって勉強する。将来のために一生懸命がんばります。

辻 誠也
積木 咲姫
中尾 祐人
中西 希綾
西村珠莉愛
野中 優花
濱口 大
林 花楓
藤井 求道
松岡 航央
松本 怜晃
山本 衣恋
和田ほのか

副担任より 鶏口牛后

関 八州雄



毒舌家から故事成語二つ。

「鶏口牛后」 国後という地名があるが、「後」は「尻」。大きいからといって集団の尻になんかつくなという意味に解されるが、実はもっと痛烈だ。「後」はもと「后」で、「皇后」に使われる字だから忖度しているのかもしれないが、「人」の股の下の「口」、つまりケツの穴だ。この言葉を思うとき、テレビに出てくる〇〇さんに忖度する役人が頭に浮かぶ。決して牛のケツの穴になってはいけない。

「渴しても盗泉の水を飲まず」 困難な時、逃げたり言い訳したり、不正まがいのことをするやつがいる。男なら節をまげな。こらえて生きろ。これが誰かの口癖「女はいいんだ…」の意味だ。大丈夫当に此くのごとくなるべし。

「仲間」として

須藤 春香

卒業おめでとうございます。三重中学校で過ごした3年間はどうか。楽しかったことや嫌だったこと、振り返ってみるといろいろなことがあったのではないのでしょうか。その結果、皆さんが今、「この学校に来てよかった」と思えるのであれば、充実した3年間を過ごすことができたということなのでしょう。

皆さんが入学した年に、私もこの三重中学校に赴任しました。そして3年間、皆さんと過ごしてきました。皆さんにとって、私がどんな存在だったか分かりませんが、私にとって皆さんは3年間ともに過ごしてきた「生徒」であり、「仲間」です。私は「仲間」として、これからの皆さんを応援しています。

4月から始まる3年間は、皆さんにとって重要な3年間になるでしょう。皆さんが高校を卒業するときに、「この学校に来てよかった」と思える3年間が過ごせることを、私は祈っています。



1年生 お菓子工房M 冬まつり

12月14日(土)、第1学年の生徒は、「まつさか福祉会冬まつり」に招待されました。「まつさか福祉会冬まつり」は地元の交流を目的として開催されたイベントで、初開催でしたが、ワークセンター松阪に700人を超える人たちが集まりました。第1学年は、「Happy Christmas」と「Stand By Me」を合唱しました。当日急遽、ゴスペルシンガーとコラボすることになり、生徒は緊張していましたが、観客のみなさんの温かい歓声に後押しされ、心地よいハーモニーを奏でることができました。シンガーから絶賛され、主催者からも大変感謝されたことで、生徒たちは、地域の方々との交流の大切さと必要とされる喜びを体感することができました。

みんなの力

1C 神田 星来

私は、今回の冬まつりで、あることに強く心を動かされました。

それは、皆の団結力です。練習にも集中して取り組み、良いものをみんなで作り上げようという思いが強くありました。歌手の方との打ち合わせが当日しかなく、少し焦りもありましたが、今どうすべきなのかをすぐに判断し、より会場を盛り上げることができました。今までで一番一年生全員が一つになれた瞬間だったと思います。127人全員の気持ちが一つになるとこんなにも素晴らしい感動を作り出すことができるんだと改めて実感しました。この感動を忘れずに次に生かしていきたいです。

また、私は所属している音楽部の演奏にも参加しました。音楽部は重要なオープニングを任せられ、ありがたさと緊張で胸がいっぱいでした。私が、もしもここで間違えたらと、とても不安な気持ちでいっぱいでしたが無事成功することができ、安心しました。さらに今回は地域との交流という面でもとても良い機会だったと思います。この行事に呼んでくださったことに深く感謝しています。



1年生 スキー練習会

1年生は1月21日から24日にかけて長野県の志賀高原でスキー練習会に参加しました。暖冬で積雪量が心配されましたが、初日は好天に恵まれ楽しく練習することができました。2日目に気温が上がり、みぞれが降ったためにゲレンデにアイスバーンができてしまいましたが、最後まで真剣にスキー練習に取り組み、大きな事故やケガもなく無事に終了することができました。

生徒一人一人の意識がとても高く、この練習会の目的である、「自主的な生活態度や規律ある集団生活の基礎を身につけるとともに、相互協力の精神を養う。またスキーの基本的技術を習得し体力づくりを図る」がしっかりと達成され、多くの学びを得ることができた研修となりました。



1A 西垣 瑛人

「常に次の事を考えて行動すること、自分で自分のことをするということ、1人が遅れるとみんなが遅れるということ」この3つがスキー練習会で最も学んだ部分です。これをスキー練習会だけではなく、日常生活でもできるようにしなければならないと思います。

また、このスキー練習会に行けたのは両親や先生方、ホテルの方が協力してくれたからです。この方たちに感謝を表すということは学んだことを実践することだと思います。今後しっかりと期待に応えるために学んだことを実践していきます。

1B 瀬口 活志

僕は今回のスキー合宿でたくさんの事を知り、学びました。特に感じたのが信頼されることです。僕はスキー班の班長だったので班をまとめたりする役目と責任がありました。どれだけ小さなミスでも最終的には大丈夫な事でもそれだけで大きな事故につながるかもしれないとわかりました。部屋の中でも初めはいろんなことを聞いてしまって迷惑をかけていたけれど、自分の事は自分でして時間を守って行動すると、相手も自分を信頼してくれて一緒に行動してくれたりしました。当たり前のことをちゃんとするだけで周りも変わってくるんだと実感しました。

1D 青木 李華

4日目の最終日。私は上手く滑れるようになり、スキー練習会を満遍なく楽しんでいました。滑っているときには、「この練習で最後なのだ」、「もうこの景色を見られなくなるのだ」と思うと、悲しくなりました。その時に言ってくれたインストラクターさんの言葉が私の心を動かしてくれました。

「私が、一番この練習会で教えたかった事は、仲間を思いやることだ。社会に出たら、スキーは役に立たないが、思いやる気持ちは必要だ。今回の練習会で、みんながみんなを思いやっていた。それはとても良いことだ」

三重中学校の四大綱の中には、「チームワークをつくる」とあります。今回の練習会では、チームワークをつくり、さらに高めることができました。これからの中学校生活の中で、今回のスキー練習会で得た経験を生かしていきたいと思っています。

1C 野口 紫陽

スキー練習会で、自分の行いが返ってくるということを知りました。私が布団を片付けると、寝る前みんなが布団を広げてくれたり、台拭きを取りに行くと、みんなが私の分までお皿を片付けてくれたりしました。練習会を経て一人一人に仲間を見る目が合宿の前より備わったと思います。この先大人になっても大切になっていくことを教わったスキー練習会でした。





雅楽体験 1D 小川千晶

1年生 雅楽体験

12月13日(金)、第1学年で音学科特別講座『雅楽体験教室』が行われました。「雅結会^{がゆうかい}」の皆さんをお招きし、鑑賞と楽器体験をしました。楽器体験では、生徒たちによる合奏もあり、短い練習時間でしたが、一人一人が音色を響かせることができ、素晴らしい演奏となりました。この講座を通して、生徒たちは雅楽の歴史を知り、普段は目にすることもない楽器に触れることで、雅楽の伝統の重みを体感することができました。

雅楽体験をするということで、第2体育館に入って驚いたのは、楽器だけではなく赤い敷居のようなものと、緑の絨毯のようなものが用意されていたことです。恐らくそこで雅楽体験をさせて頂いたり、舞を見せて下さったりするのかなと思いました。その雰囲気を含めて、体験やお話を聞く前から、とても興味が湧いていました。

雅楽の人の話は少し難しかったですが、私でも分かるような言葉を使って下さったり、時々クイズを挟んで頭に入りやすい、簡潔な説明をして下さったりしました。また、そのお話の中で「琴線」についてお話しされていましたが、私の知識不足で言葉の意味が分かりませんでした。調べてみると「琴の糸。心の奥深くにある、物事に感動・共鳴しやすい感情を琴の糸に例えた語」という意味だと分かりました。私は、雅楽はその琴線のような、人の繊細で移ろいやすい心を表現しようとしているのかと推測しました。体験を通して、更に雅楽について考えたいです。

2年生 社会見学

キャリア教育の一環として、2年生では毎年社会見学を実施しています。今年度も2月12日(水)、13日(木)の2日間に、名古屋市の「トヨタ産業技術記念館」と「朝日プリンテック名古屋工場」の見学をしました。見学先の収容人数が限られているため、2クラスずつ2日間に分けて実施しています。「トヨタ産業記念館」ではこれまでのキャリア学習で取り組んだ「課題を解決するための発想法」を、豊田佐吉氏の研究姿勢から感じ取った生徒がたくさんいました。「朝日プリンテック」では、新聞づくりの現場という時間との勝負のなかで、さらなる品質の向上を目指しておられる方々の姿を直接拝見し、モノづくりの大切さや、それに携わる人たちの熱い思いを肌で感じていました。今後の自分の将来を考える良い刺激になったと思います。



今回の発見 2A 森 いずみ

私は、トヨタ産業技術記念館を見学して、昔は綿から一人一本ずつ糸を紡いでいたことに驚きました。一人で一本一本糸を紡いでいるのなら、私たちが着ている服には一体どれくらいの時間と労力がついやされるのだろうと思いました。「人はなぜ文明を発達させてきたのか」という疑問に、私の周りの大人は「時間を節約するため」と言っていたけれど、今までの私には理解ができませんでした。でも、今回の体験で、糸つむぎから機織りまでどンドン人間が手を加えなくてもよくなり、時間の節約ができたことで、新しい繊維を研究したり、衣類以外の使い方を開発する時間が生まれてきたのだと気づくことができました。

いろいろなモノの進化 2A 弓岡 夏実

私は豊田佐吉が開発した自動織機がだんだん変化する過程を見て、近代工業が効率的生産性や利便性を求めて今のレベルまで進化したことが理解できました。不便だと思ったことを、数年かけて改善していく豊田佐吉の発想や実現したいと思う気持ちの強さに驚きました。朝日プリンテックでは、いろいろなところにこだわりがあることが印象的でした。

必ず時間通りに発送すること、紙面の見え方、紙の管理、環境への配慮など、とてもたくさんのこだわりがありました。いつも、朝起きると何となくテーブルに置いてある新聞が、自分の想像以上に人々の思いが詰まった「モノ」であると感じました。そして、徐々に上がっていくクオリティへのこだわりは、トヨタの方々と同じだと思いました。ぜひ、今度は記事や紙面の作成の過程も見てみたいと思いました。

2年生3年生合同で能楽囃子体験教室が行われました

2月5日(水)、岡三加藤文化振興財団の助成で2年生3年生対象の音楽科特別授業『能楽囃子体験教室』が行われました。能楽小鼓方大倉流16世宗家 大蔵源次郎先生をはじめ第一線で活躍してみえる能楽師の方々5名をお招きし、

約2時間にわたって鑑賞と体験をしました。能楽師の方々の実演と楽器(笛、小鼓、大鼓、太鼓)、仕舞や能面の説明のあと、生徒は、鼓の打ち方や仕舞の所作を体験させていただきました。また、謡曲「高砂」を教えてください、生徒・教員合わせて160人ほどでうたうところに、講師の方々が演奏を重ねていただくと体育館が迫力のある音に包まれ、日ごろは体験できない一体感を体験することができました。



能楽囃子体験

私は和楽器の奏でる音が小さいころから大好きです。心が澄んで目を閉じると自分が本当に昔の時代にいるような、神秘的な感覚を味わうことができるからです。今回の能楽囃子体験でもそういう感覚を味わうことができ、とても嬉しかったです。また、今回は音を聞くだけでなく舞も見させていただいて、迫力が増すなど感じました。そして、「能楽」などの伝統芸は、昔からの技術や道具によって脈々と現在まで伝え続けているということに改めて実感し、どの時代でも人々を魅了する不思議な力を持っているのだなと思いました。「能楽」は無形文化遺産に登録されていて、世界からも称賛されているそうです。すばらしい伝統が日本にあってすごく嬉しく思いました。これからは、いろいろな伝統芸能の舞台を見に行こうと思います。

2B 面之坊 知奈

能楽囃子体験講座に参加して

僕はこの体験講座で、初めてのことをたくさん知ることが出来ました。小鼓や大鼓は、一見すると簡単に打っているように見えて、素人には簡単に出せない音だと感じました。そして、小鼓と大鼓では音の感じが全然違ってとても驚きました。

また、能面の表情が変わることも初めて知りました。光の当たる角度で無表情だったものが、表情豊かに変わっていく様子を実際に見てすごいと思いました。微妙な角度をマスターするには、相当の訓練が必要だろうと感じました。舞を舞う時も、体を少し前傾にする姿勢で舞うので、バランス感覚も重要だと思いました。

最後に、全員で合唱しましたが、謡は独特なイントネーションがあり、一語を長くのばしたり、声を裏返すところもあって、慣れるのには時間がかかりそうだなと思いました。

全てにおいて今までにないことだったので、貴重な体験になりました。

3B 松田 優輝

2・3年生 特別授業

変電所見学

2月13日(木)、14日(金)、中部電力の皆さんのご協力のもと、現行の学習指導要領で復活した交流・送電学習を学ぶために三重中学校に隣接する中部電力南勢変電所に関わる特別授業を行いました。13日は本校の3年生が、各クラス1時間ずつ実際に変電所を訪問し、変圧器、断路器、遮断機を見ながら変電の仕方や機器の役割について説明を受けました。見学の中では機器の役割だけでなく、鳥の害への対策や台風によって運ばれてくる塩への対策など、各家庭に安定した電気を届ける工夫についても説明を受けました。この機材は何なのか、どうしてこのような対策があるのかなど質問も多数あがり、生徒たちは、初めて見る機器類に興味津々の様子でした。

14日は本校に中部電力の方をお招きし、送電に関する事後学習として実際行われている仕事の内容や取り組みなどについてパワーポイントを用いてお話していただきました。

3年生で理科特別授業「放射線」が行われました。

2月19日(水)に、中学3年生で現行の学習指導要領にて、30年ぶりに復活した放射線の学習を深めるために放射線に関する特別授業を行いました。中部原子力懇談会のご協力で名古屋大学名誉教授の青山隆彦先生をお招きし、ベルホールで2時間にわたり、講義と実験を行っていただきました。

1限目は放射線の性質について様々な基礎知識を学びました。かなり高度な内容も含むものでしたが、より関心と興味が増すこととなり、後半の質疑応答では「半減期」に踏み込んだ議論が展開されました。2限目は「簡易霧箱」を各自が作成し、放射線の軌跡を観察しました。事前に「霧箱の原理」についての学習を行った上での実習は身近な事象への理解が深まりました。今回の講義で「放射線」について理解が深まり、とても印象的な学習になりました。先生の熱いメッセージには学ぶところが大きく、生徒たちは自分事として真剣に聞き入っていました。



プログラミング講座

2月第3週に中2各クラスで2回ずつ、技術と理科の合同特別授業として「2年生プログラミング特別講座」を実施しました。三重大学特任教授の加藤進教授をお招きした、プログラミング教材「Ichigo Jam」を使った特別授業です。

「技術」の単元「コンピュータによる計測・制御」・「プログラミング」に関係する内容で、プログラミングによってRGB・LEDの点灯を操作することを学びました。太陽電池式の照明の太陽電池を照度センサーとして利用し、LEDを照度によってコントロールするプログラムを作成しました。手で太陽電池を覆うとLEDが点灯することを確認すると、思わず「おー」という感動の音が聴かれました。授業で学んだことが、実生活においてどのような仕組みで活用されるかということを実体験できる非常に貴重な体験となりました。

